

未来の夢への移行について

2013 年に導入されるロータリー財団新補助金構成に地区が備える方法



ロータリー財団の補助金は、人々を助け、世界をより良い場所にする活動に生かされています。「未来の夢計画」で実施される新しい補助金構成は、ロータリー長期計画の 5 つの中核的価値観をより効果的に支援するものです。この新補助金構成が全世界で導入される 2013 年 7 月 1 日に備え、主要な行事とそれに伴う実行項目を記載した以下の予定表をご参照ください。

2011-12 年度: 新補助金構成について学ぶ機会

2012 年 1 月	国際協議会
2 月～6 月	2012-13 年度の活動計画の立案を開始
5 月	RI 国際大会でのワークショップ

2012-13 年度: 研修、参加資格認定、準備

2012 年 7 月 1 日	2013～16 年度に任期を務める地区ロータリー財団委員長を任命
7 月～12 月	地区ロータリー財団小委員会委員長の人選と任命
8 月～12 月	GETS とロータリー研究会
2013 年 1 月	国際協議会 オンラインによる参加資格の認定手続を開始
2 月	クラブの研修と資格認定を開始
2 月～6 月	ロータリー財団補助金のオンライン申請を開始 その時点までのロータリー財団全補助金とプログラムの報告書が提出済みであることを確認
6 月	RI 国際大会でのワークショップ

2013-14 年度: 全面参加

2013 年 7 月 1 日	新しい補助金構成を全世界で導入
----------------	-----------------

未来の夢計画は現在も試験段階中です。全世界導入の前に、補助金の指針に変更が加えられる場合がありますので、ご了承ください。最新情報はwww.rotary.orgで随時ご確認ください。

2011-12年度:新補助金構成について学ぶ機会

2012年1月

国際協議会

ガバナー・エレクトの皆さまには、2012年国際協議会の一部として開かれる「未来の夢ワークショップ」にご出席いただきます。このワークショップから最大限に学ぶことができるよう、ガバナー・エレクトは、サンディエゴでの国際協議会に出席する前に、地区リーダーと協力して以下の項目を行います。

- 未来の夢計画について、できる限り予習しておく。未来の夢計画に関する詳細を、[RI ウェブサイト](#)、「[未来の夢ニュースレター](#)」(メール配信を受けるためにお申し込みが必要です)、[Eラーニングのモジュール](#)を読む。
- 「[地区ロータリー財団委員会要覧](#)」を読む。地区とクラブのロータリー財団委員会委員として、意欲と知識を備えた人物を任命し、充実した委員会づくりを行う。クラブ・レベルでは、将来に地区財団委員会の委員となる人材を育成するようにする。
- 「[新地区補助金とグローバル補助金の授与と受諾の条件](#)」を読む。
 - 既に存在するプロジェクトが新地区補助金またはグローバル補助金の支給条件に合っているかどうかを判断する。グローバル補助金の条件を満たすために、どのような変更を加える必要があるかを検討する。
 - 地区が現在用いている地区補助金の手続を見直し、新地区補助金をどのように導入するか(クラブからのプロジェクト提案(申請)を受け付ける方法、新地区補助金への移行に伴う変更点をクラブに連絡する方法など)を検討する。
 - プロジェクトを立案する際には、[持続可能](#)かつ成果の測定できるプロジェクトにすることを考慮に入れ、[重点分野](#)に沿ったものとなるようにする。また、複数クラブが合同で3万米ドル以上の大きな補助金プロジェクトに取り組む機会を模索する。
 - 新地区補助金とグローバル補助金のスケジュールは、これまでの財団プログラムとは異なることに留意し、新しいスケジュールに沿って計画を立てる(例えば、地区は、2013-14年度に留学する[奨学生](#)を、2012年1月までに選出する必要はありません)。グローバル補助金による奨学金の提案書と申請書は、年度を通じて随時提出できますが、財団による審査と手続に必要な時間を考慮し、留学開始の少なくとも3カ月前までに申請書と支払いに必要な情報を提出します)。
 - DDF(地区財団活動資金)の配分に関する地区の方針を話し合う。どのようなプロジェクトにDDFを配分するか、クラブからのプロジェクト提案(申請)は誰が審査するか、DDFの何%を新地区補助金に充てるか、DDFの用途をクラブにどのように報告するかといった点を、検討しておく。
- [地区の覚書](#)(MOU)の内容に通じておく。既に地区に備わっている条件や、既に満たしている項目はどれか、MOUを順守するために新たに何を導入すべきかをご検討ください(注:インドの地区は[インド版の覚書](#)を参照のこと)。
- 「[補助金管理の手引き](#)」に目を通し、補助金管理セミナーの計画と準備を開始する。
- 国際協議会で地区ガバナー・エレクトが質問できるよう、分からない点を書き出しておく。

2012 年 2 月～6 月

2012-13 年度の活動計画の立案を開始

新しい補助金構成について学び、2012-13 年度の計画を立て始めるために、地区は以下の項目を行います。

- 2013 年 7 月から任期を務める地区ロータリー財団委員長の候補者を検討する。人選する際には、現ガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニー（既に選出されている場合）、地区ロータリー財団委員長が話し合いにかかわる。2012-13 年度の地区ロータリー財団委員会には、次期地区ロータリー財団委員長も参加し、現委員長の代役を務めるなどして任務を学ぶ。未来の夢の研修と移行は、次期委員長の指揮の下で行うようにする。
- ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC) に、[試験\(パイロット\)地区](#)の地区役員を紹介してもらい、試験地区に連絡して、試験段階中の経験について話を聞く。また、新しい補助金構成について質問がある場合は、ロータリー財団地域コーディネーターに尋ねる。
- PETS と地区協議会で、次年度中も続行される現プログラムと、次年度後半に徐々に新補助金へと移行されるプログラムについて、クラブ指導者に研修を行う。移行について理解できるよう、クラブに以下を行ってもらう。
 - それまでよりも規模の大きい、持続可能なプロジェクトについて考え始める。
 - [RIウェブサイト](#)で未来の夢について読み、[Eラーニング・モジュール](#)で予習する。
 - [「クラブの覚書」](#) (MOU) を読み、クラブが既に備えている条件は何か、新たに導入すべきプロセスは何かを検討する。
 - クラブがグローバル補助金を申請するには、2013 年 2 月～6 月に行われる補助金管理セミナーに出席しなければならないことについて、会員に説明する（詳細は[「補助金管理の手引き」](#)をご参照ください）。

2012 年 5 月

RI 国際大会でのワークショップ

5 月 3～6 日のバンコク RI 国際大会に付随して開かれる「未来の夢ワークショップ」に出席します。

2012-13 年度：研修・参加資格認定・準備

2012年7月1日

地区ロータリー財団委員長を任命

一度のみの例外として、地区は、新しい地区ロータリー財団委員長（任期は2013年7月1日～2016年6月30日）を任命できます（現委員長の任期が2013年6月30日に終了する予定でなくても、新委員長を任命できます）。財団委員長を人選する際には、ロータリー研究会に付随する研修と2013年国際協議会での研修に出席でき、資格認定のプロセスを開始できる人物を選びます。選出する前に、以下の項目を行います。

- [「地区ロータリー財団委員会要覧」](#)を読む。
- 2013-14 年度に地区財団委員会の委員となる候補者を検討する。

2012年7月～12月

地区ロータリー財団小委員会委員長の人選と任命

地区ロータリー財団委員会（2013年7月から任期を開始）内に設置する小委員会の委員を任命します。また、補助金小委員会の委員も人選します。

2012年8月～12月

GETSとロータリー研究会

GETS（ガバナー・エレクト研修セミナー）とロータリー研究会で、ロータリー財団補助金に関する研修が行われます。地区指導者は、GETSとロータリー研究会に出席する前に、以下の項目を行います。

- ロータリー財団の新補助金について、できるだけ学ぶ。[RI ウェブサイト](#)にある成功例や最新情報を読み、[未来の夢ニュースレター](#)の E メール受信を申し込む。
- 以下の E ラーニング・モジュールを使って予習する。
 - [未来の夢：概要](#)
 - [補助金の管理](#)
 - [会員アクセス：地区の参加資格認定](#)
 - [財団の資金](#)
- [地区の覚書](#)（MOU）を読み、要件を満たすための計画を作成する。（インドの地区は[インド版](#)を参照）。
- ロータリー財団補助金に関する地区対象のウェビナーに出席する（ウェビナーはロータリー財団から提供されます）。

2013年1月

国際協議会

サンディエゴで、地区ガバナー・エレクト、地区ロータリー財団委員長、ロータリー財団地域コーディネーターは(RRFC)を対象とした1日の合同研修が行われ、その翌日に地区ロータリー財団委員長のみを対象とした1日研修が行われる予定です。この研修は、地区が互いに学びあう機会となります。この研修よりも前に、地区が重要な決定を行なう可能性もありますが、ほかの地区のアイデアや成功例を基に、地区の手續に変更を加えるといった柔軟性を持つことを心がけてください。

- [新地区補助金とグローバル補助金の授与と受諾の条件](#)を読む。地区財団活動資金(DDF)の配分方法や、クラブからの補助金要請を地区で承認する方法を決定する。
- 以下の Eラーニング・モジュールを使って予習する。
 - [補助金を選ぶ](#)
 - [グローバル補助金の立案](#)
 - [プロジェクトと活動を持続可能なものとするために](#)
 - [重点分野:概要](#)
 - [職業研修チーム](#)
 - [ロータリーの奨学金](#)
- 分からないことがある場合は、質問をすべて書き出し、そのリストをガバナー・エレクトに渡す。ガバナー・エレクトは、それらの質問を国際協議会で尋ねることができる。

オンラインによる参加資格の認定手續を開始

地区がロータリー財団の補助金を申請するには、まず、オンラインで地区の[参加資格の認定手續](#)を完了する必要があります(オンラインでの認定システムと補助金申請書は、1月に開始予定となっております)。以下の項目を行い、手續の際に入力すべき情報を、前もって準備しておきましょう。

- [地区の覚書](#) (MOU)を読む。(注:インドの地区は[インド版の覚書](#)を参照のこと)
- [会員アクセス:地区の資格認定手續](#)の Eラーニング・モジュールを使って予習する。

2013年2月～6月

クラブの研修と資格認定を開始／ガバナー補佐とそのほかの地区指導者メンバーの研修

地区がクラブの研修と参加資格認定を行う前に、PETS、地区協議会、補助金管理セミナーでクラブに適切な指導ができるよう、以下の項目を行います。

- クラブを対象としたロータリー財団補助金関連のウェビナーに参加するよう、クラブ指導者に奨励する（このウェビナーはロータリー財団から提供されます）。
- [補助金管理セミナー](#)の実施スケジュールが決まっているかどうか、クラブに対するセミナーの周知が行われているかどうかを確認する。
- クラブが補助金を利用するために、地区が独自に要件を追加するかどうかを検討する。
- [DDF\(地区財団活動資金\)](#)の配分について、地区がクラブにどのように報告するか、また、地区が使用したDDF額をクラブにどのように報告するかを検討する。
- DDF配分のプロセス、新地区補助金の申請方法とガイドライン、クラブの参加資格について、クラブに伝えられるようにしておく。
- 新地区補助金のためにクラブからの提案書(補助金申請)を受け付ける期日を決める。職業研修チーム(VTT)と奨学金のために新地区補助金とグローバル補助金をクラブが利用できることを、クラブに必ず伝える。
- クラブ・レベルの研修で、ロータリーが作成した資料を活用する。

ロータリー財団補助金のオンライン申請を開始

補助金の申請前に：

- クラブと地区が参加資格認定を受けていることを確認する。
- 4月に、新地区補助金のためのクラブからの提案書(申請書)の受付を開始し、できるだけ早く、オンラインで新地区補助金の使用計画を提出する(新地区補助金は、2014年5月15日までに承認され、支払い要件をすべて満たす必要があります)。
- 2013年7月1日に地区が補助金を受領するために、現時点までの地区補助金の報告書が提出済みであることを確認する。
- 以下のEラーニング・モジュールを使って予習する。
 - [会員アクセス:新地区補助金の申請書](#)
 - [会員アクセス:グローバル補助金の提案書](#)
 - [会員アクセス:グローバル補助金の申請](#)
- 新しい補助金の管理システムを導入し始める。
- 移行において問題や懸念がある場合は、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)に相談する。

その時点までのロータリー財団の補助金とプログラムの報告書が提出済みであることを確認

補助金の提唱者は、新地区補助金やグローバル補助金が承認される前に、地区（またはクラブ）が提唱したそれまでの人道的補助金の報告を提出済みでなければなりません。補助金の代表提唱者となっている地区（またはクラブ）は、一度に合計10件までの未完了の補助金を持つことができます。ロータリアンが提唱するすべての活動（奨学金、人道的奉仕活動、職業研修チーム（VVT）を含む）について、報告要件を守することは非常に重要です。

- 補助金プロジェクトが完了したら、直ちに報告書を提出し、補助金を終結する（地区は、いかなる補助金も（マッチング・グラント、3-H補助金、地区補助金、グローバル補助金、新地区補助金を含む）、一度に最高10件までしか持つことはできないことにご留意ください）。
- まだ終結していない地区補助金がある場合には、地区が抱えている未終結の補助金の少なくとも半分について、記入漏れのない報告書を提出する。地区が提唱しているマッチング・グラントの報告書も、遅れなく提出しなければなりません。
- 国際親善奨学金と研究グループ交換チームの最終報告書を提出する。
- 地区におけるそれまでの国際親善奨学金、研究グループ交換、人道的補助金の成果を祝う。これらのプログラムを支えた人々に感謝の意を表し、今後もロータリー財団への支援をお願いする。

2013年6月

RI国際大会でのワークショップ

国際大会中に行われるロータリー財団補助金ワークショップに出席します。

2013-14 年度：全面参加

2013年7月1日

新しい補助金構成を全世界で導入

全世界のすべてのロータリー・クラブと地区が、新しい補助金に参加します。